

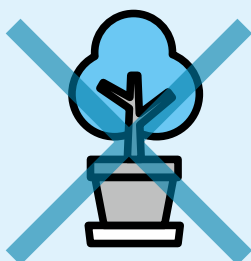
デング熱の感染のもと

ヒトスジシマカの発生源を叩け!

公園だけでは
ありません!



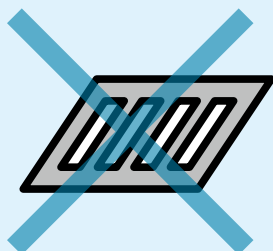
屋外に放置された
子供のおもちゃ



植木鉢の皿



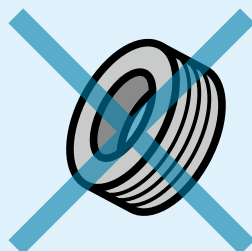
雨ざらしのじょうろ



排水溝



屋外に放置された
空きビン・缶、ペットボトル



古タイヤに
溜まった水たまり

デング熱の原因となるデングウイルスは、デング熱に感染した人の血を吸った蚊（日本ではヒトスジシマカ）の体内で増え、その蚊がまた他の人の血を吸うことで感染を広げていきます。感染してもすべての人に症状がでるわけではありませんが、高熱や関節の痛み、目の奥が痛くなるといった症状が1週間から2週間ほど続きます。

ヒトスジシマカは、空き缶に溜まった雨水など、小さな水たまりを好んで卵を産み付けます。住まいの周囲の水たまりを無くすことで、今シーズンや翌年に発生する蚊の数を減らすことができます。

デング熱は人から人へは
感染しません。

【ヒトスジシマカ】

背中に一本の白い線とW字状の模様がある4.5mmほどの蚊で、5月中旬から10月下旬まで活動します。雑木林や竹林などで繁殖し、最近は藪・墓地・公園などでも見られるようになりました。特に日中に活発に吸血します。活動範囲は50～100m程度です。



●デング熱に関する詳しい情報は厚生労働省のHPをご覧ください。

デング熱 厚生労働省

検索

バーコード読み取り機能付き携帯電話でご利用できます。

